

エコ・グリーンテック 2004

併 催：エコ・グリーンテック特別講演会
環境緑化 BOOKフェア 2004

報 告 書

エコ・グリーンテック実行委員会
環 境 緑 化 新 聞 社

ECO GREEN - TECH 2004

ミドリ、その先へ 環境技術に国境はない



会場となった東京ビッグサイト西4ホールには初日より多くの人押し寄せた。来場者は「都市緑化、次の一手」を探し求めて熱心に会場を視察していた



東京ビッグサイトに設置された屋外案内版



東京ビッグサイトのエントランスを会場へ向う人々



受付で登録手続を行う来場者



エコ・グリーンテック2004のテーマは「ミドリ、その先へ」



尊農社緑地の協力で実現した180㎡の芝生広場。「立入禁止」の看板はない。最初は恐る恐る足を踏み入れていた来場者も芝生の快適さを満喫していた



建築緑化システム研究会が設置した壁面緑化タワー。8 mの構造物は東京ビッグサイト史上最大級となる



今年は例年にも増して壁面緑化の提案が目立った



来場者の専門的な質問に出席者の説明も熱を帯びる



会場に設置したパネル展示コーナー



恒例となった環境・緑化BOOKフェアでは100円均一の専門書のコーナーが人気



ハンドスケープコンサルタンツ協会と共催の中国マーケットを視野に入れたシンポジウム



環境問題の先駆者・宇井純 沖縄大学名誉教授の講演も開かれた



スタイリッシュグリーン&フラワー協会会長・梁瀬泰子さんの楽しいコンテナガーデンの技術講座



ハンギングバスケットマスター・佐々木雅代さんのセミナー



会場内では平成16年度一造会通常総会も開かれた



日本民家再生リサイクル協会のフリーマーケットコーナー

特別展示

『緑による都市と地域の再生』 (財)都市緑化技術開発機構



「緑による都市と地域の再生」をテーマとした総合展示は各共同研究会の研究成果の結晶。写真左はガーデニング共同研のクライメートゾーン（最低気温による地域区分）を知って楽しむ科学的なガーデニングの提案



来年の愛知博・バイオラックを視野に入れた多様な壁面緑化の展示は来場者の注目を集めた



各共同研が担当した連続セミナーの一コマ



バリアフリー共同研の会場通路を使用したデモンストレーション



緑化機構の出版物販売コーナーも人気を集めていた

「エコ・グリーンテック2004」を振り返って



エコ・グリーンテック実行委員長
樋渡 達也

「エコ・グリーンテック2004」開催に当たりましては、皆様方の格別のご高配を賜り誠に有難うございました。お蔭様をもちまして盛会裏に第8回の展示会を終了することが出来ましたことを厚く御礼申し上げます。

第1回からの展示の変化を振り返りますと、環境緑化の話題の焦点が社会需要の変化とともに急速に変わってきたことを感じさせます。当初は、緑化部門の機械化や荒地の緑化技術の導入などに話題が集まっておりましたが、やがて都市や建築と密着した緑化技術へと焦点が移るとともに、京都議定書とも関連して地球温暖化問題が登場し、よりグローバルな視点での技術開発が多く見られるようになりました。そのことは、実に多様な屋上緑化技術が展示され、お客様のご興味を引きつけていたことから伺えます。

同時に、環境緑化資材の中心を占める植物素材に対するお客様のご興味が第1回より根強く続いておりますことも印象的です。第6回の展示会では樹木の新しい樹種の大量展示が多くの皆様のご興味を引き好評であったことは記憶に残っております。今回は多くの芝生展示が趣向を凝らして展開されましたことも、生活の中に植物素材を使用したいとする根強い社会のニーズのあることを示すものといえましょう。

屋上緑化技術展示が、今回は壁面緑化技術展示へと大きく転換してまいりましたことも注目されます。来年の愛知万博・バイオ・ラングで採用される諸技術が(財)都市緑化技術開発機構の総合展示の中で勢ぞろいし、多くのお客様を引きつけておりましたのが印象的でした。

また、恒例の特別講演会で(社)ランドスケープコンサルタンツ協会と共催で、「デザインマーケットとしての中国戦略」をテーマにシンポジウムを開催できたことは、現在各分野から熱い視線を浴びている中国市場へ造園界の目を向けさせる先鞭を付けたものといえます。

このような時代のニーズの変化を的確に見極めつつ、明年も新しい課題を探り展示会を企画して参りたいと思います。今後もよろしくご支援ご協力賜りますようお願い申し上げます。おわりに、今回の開催にあたり絶大なご協力をいただきました関係省庁ならびに自治体、諸団体、関連企業の皆様に深く感謝申しあげ、御礼のご挨拶とさせていただきます。

2004年6月吉日

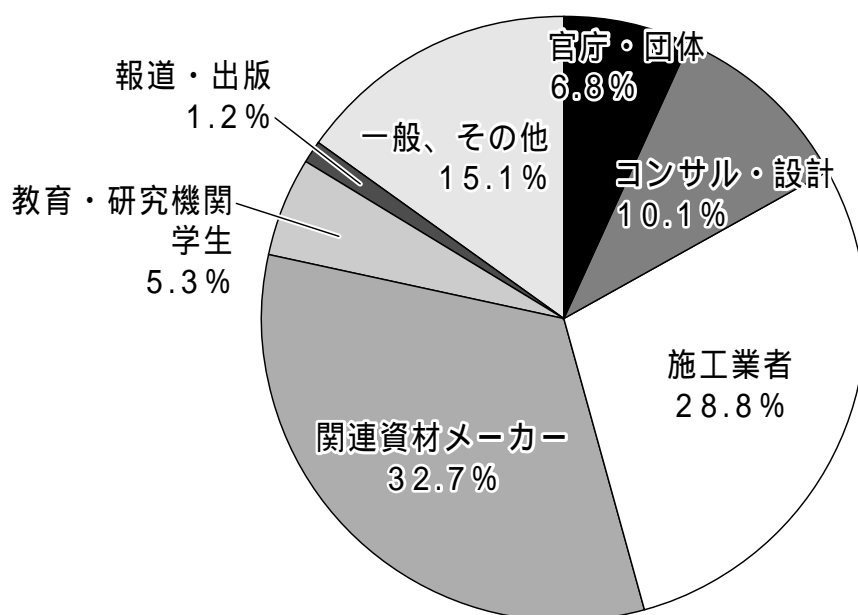
1 開催概要

| | |
|---------|--|
| 名 称 | 第8回 環境・緑化産業展「エコ・グリーンテック2004」 ECO-GREEN TECH 2004 |
| テ ー マ | ミドリ、その先へ 環境技術に国境はない |
| イ ベ ント | エコ・グリーンテック特別講演会 環境ブックフェア 2004 他 |
| 会 期 | 2004年5月26日(水)～5月28日(金)3日間 |
| 開 場 時 間 | 10:00～17:00(3日間) |
| 会 場 | 東京ビッグサイト(東京国際展示場)西4ホール |
| 実 行 委 員 | 委 員 長 樋渡 達也 造園家 副委員長 進士五十八 東京農業大学 学長 委 員 五十嵐 誠 &都市緑化技術開発機構 専務理事 石原憲一郎 兵庫県立淡路景観園芸学校長 大塚 守康 ^ランドスケープコンサルタンツ協会 会長 成家 次男 ^日本造園建設業協会 会長 福成 敬三 日本ランドスケープフォーラム運営委員 細谷 恒夫 ^ランドスケープコンサルタンツ協会 副会長 事務局長 井上 元 ! インタラクシオン代表取締役、環境緑化新聞主幹 |
| 主 催 | エコ・グリーンテック実行委員会 / 環境緑化新聞 |
| 後 援 | 国土交通省 文部科学省 農林水産省 環境省 経済産業省 東京都 英国大使館 商務部 オランダ大使館 農務部 都市基盤整備公団 ^ 日本公園緑地協会 & 都市緑化技術開発機構 |
| 協 賛 | 後 掲 (13頁 参照) |

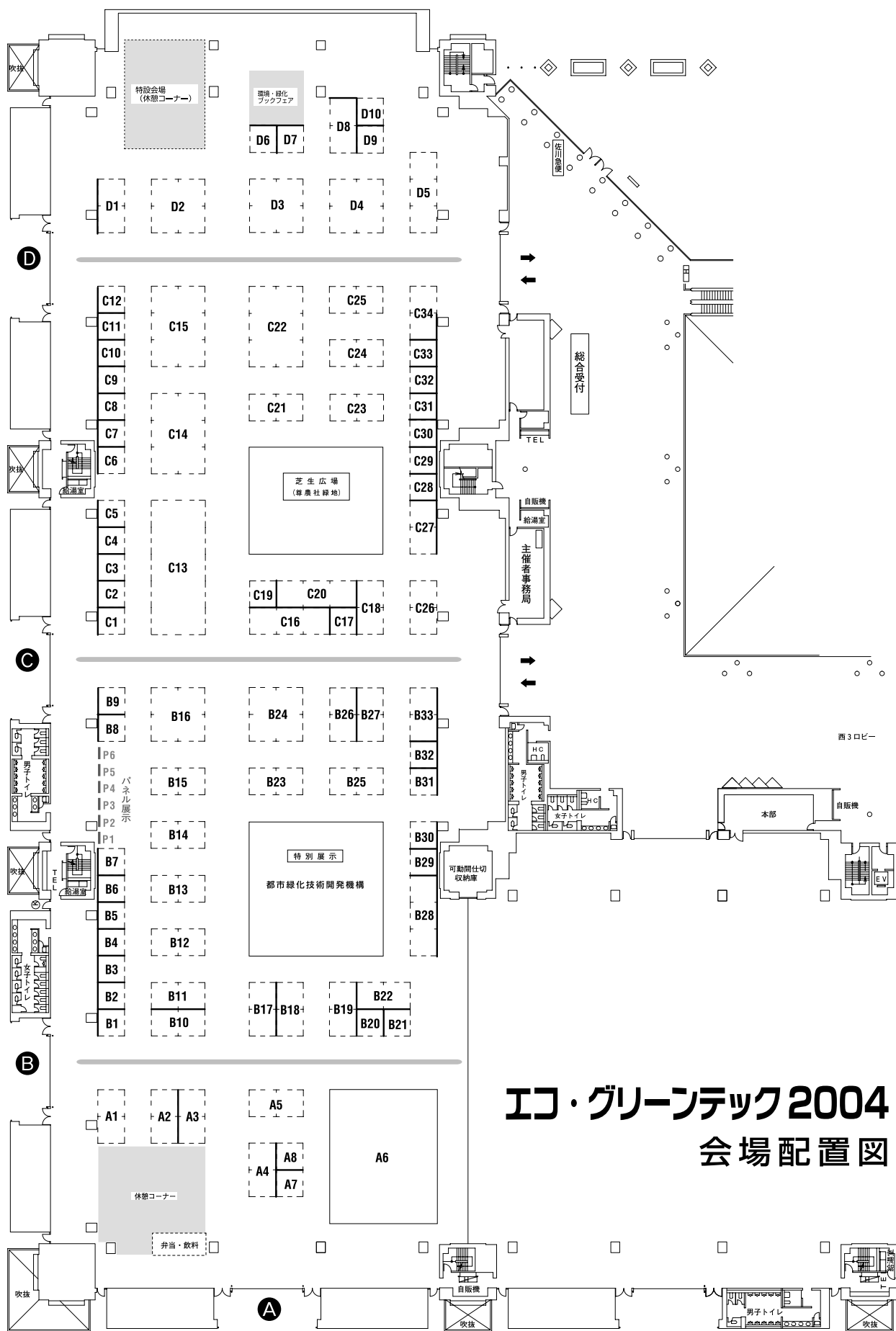
2 来 場 者

| 日 付 | 天 気 | エコ・グリーンテック 2004 | エコ・グリーンテック 2003 | エコ・グリーンテック 2002 |
|----------|-----|-----------------|-----------------|-----------------|
| 5月26日(水) | 晴 れ | 8,931 | (9,318) | (11,707) |
| 5月27日(木) | 晴 れ | 11,420 | (10,604) | (12,394) |
| 5月28日(金) | 晴 れ | 10,210 | (9,126) | (9,038) |
| 合 計 | | 30,561 | (29,048) | (33,139) |

来場者内訳



3 エコ・グリーンテック 2004 配置図



エコ・グリーンテック2004 会場配置図

| 社名 | Booth.No. | 社名 | Booth.No. | 社名 | Booth.No. |
|----------------------------|-----------|------------------|-----------|------------------|-----------|
| ㈱CSS技術開発 | B10 | ・岡谷鋼機㈱ | | ㈱日本自然緑化 | C32 |
| PSN(ブレイグラウンド・セイフティ・ネットワーク) | B F | ・岡谷マート㈱ | | 日本樹木医会 | B F |
| TDCソフトウェアエンジニアリング㈱ | D10 | ・㈱クレアテラネットワーク | | 日本石産㈱ | C25 |
| ㈱アイデック | C5 | ・京成開発㈱ | | 〇日本造園建設業協会 | D7 |
| ㈱アイディ | C19 | ・京成バラ園芸㈱ | | 日本電空㈱ | A7 |
| 浅間軽石㈱ | C24 | ・太陽工業㈱ | | 日本みどり環境リサイクル協会 | B33 |
| ㈱イーエス・ウォーターネット | B27 | ・㈱日本設計 | | 日本民家再生リサイクル協会 | A6 |
| ㈱イノアックコーポレーション | C8 | ㈱コトブキ | D4 | ・あさひ古民家古材センター | |
| イビデングリーンテック㈱ | B29 | コマツゼノア | B5 | ・ひでしな商店 | |
| ㈱インタラクション | B F | ㈱興人 | B22 | ・わらや | |
| 一造会 | P1 | ㈱構造計画研究所 | C11 | ・恩田組 | |
| ㈱伊藤商事 | B30 | サングリーン㈱ | C2 | ・工房小林 | |
| ウッドチップ工法研究会 | B25 | ㈱サンルート | B9 | ・工房仁 | |
| ・王子木材緑化㈱ | | ㈱シュミット物産 | B F | ・民家再構 | |
| ・尾瀬林業㈱ | | 水質浄化システム工業会 | P3 | 7日本緑化センター | B F |
| ㈱上田敷物工場 | C21 | ㈱セキスイエクステリア | C22 | ㈱ハイボネックスジャパン | B8 |
| エイキュー㈱ | C12 | 積水化学工業㈱ | C22 | 林物産㈱ | C13 |
| エコアライアンスグループ | C18 | 積水化成成品工業㈱ | C22 | ヒラタソフトウェアテクノロジー㈱ | B3 |
| ・㈱小川テック | | 積水テクノ成型㈱ | C22 | 兵庫県立淡路景観園芸学校 | A8 |
| ・繊維土木開発㈱ | | 全国芝生協会 | C27 | ㈱広瀬 | B20 |
| ・東洋グリーン㈱ | | ソフィール会 | C31 | ファイバーレジン㈱ | C4 |
| ㈱エコパレ | P2 | 造園・環境緑化産業振興会 | P4 | ㈱フローラ | B7 |
| オーセブン㈱ | A3 | 尊農社緑地㈱ | C19 | ㈱富士植木 | P6 |
| オールグリーン工法研究会 | D9 | ダイセル化学工業㈱ | A5 | 北陸粗朶業振興組合 | C9 |
| 屋上緑化普及協議会 | D1 | ㈱タイバック | C1 | ㈱マサキ・エンヴェック | B6 |
| ・㈱シェルター | | ㈱タカショー | B18 | マチダコーポレーション㈱ | B14 |
| ・㈱パワーアンドコムテック | | タキロン㈱ | B12 | マックストン㈱ | C23 |
| ・前田建設工業㈱ | | 田島ルーフィング㈱ | B16 | 三井物産林業㈱ | D5 |
| ・三井化学産資㈱ | | チッソ旭肥料㈱ | C7 | 三菱ガス化学㈱ | B32 |
| ・綿半インテック㈱ | | 長繊維緑化協会 | D9 | モスキャッチシステムサービス㈱ | C6 |
| ㈱カクダイ | B23 | ㈱田商 | A2 | ㈱モスキャッチシステム山形 | C17 |
| カネソウ㈱ | B15 | ㈱トーシンコーポレーション | B17 | モスブロー緑化工法研究会 | C16 |
| 街路樹ルネッサンス倶楽部 | B F | ㈱トーニチ | C10 | ・旭産業㈱ | |
| 上屋敷工業㈱ | C20 | ㈱東海グローバルグリーンング | B4 | ・㈱昭和コーポレーション | |
| 川田建設㈱ | B26 | ㈱東海化成 | B4 | ・日東紡績㈱ | |
| ㈱環境アセスメントセンター | C33 | 東京都造園建設業協同組合 | P5 | ・日本織板㈱ | |
| 間伐材防音壁普及協会 | B2 | 〇東京都造園緑化業協会 | P5 | ・日本冶金工業㈱ | |
| ・㈱伊勢湾建材センター | | ㈱東都建設機器サービス | C3 | ㈱ヤナセ | B21 |
| ・㈱落合 | | 東邦レオ㈱ | D3 | 藪会(樹勢回復研究会) | D6 |
| ・篠田㈱ | | 7都市緑化技術開発機構 | B28 | ㈱ユーエム工業 | A4 |
| ・寺部安全施設㈱ | | ・ガーデニング共同研究会 | | ユアサ商事㈱ | C15 |
| ・和興産業㈱ | | ・グランドカバープランツ及び | | 雪印種苗㈱ | C30 |
| ・綿半インテック㈱ | | 関連資材に関する技術共同研究会 | | 吉川化成㈱ | C33 |
| ・和知商事㈱ | | ・バリアフリー共同研究会 | | リス興業㈱ | B24 |
| 共同カイトテック㈱ | C34 | ・特殊緑化共同研究会 | | ㈱リック | B11 |
| ㈱キンボーグリーン | C3 | ・防災公園技術普及推進共同研究会 | | 緑産㈱ | B19 |
| グリーンイノベーション | C28 | ㈱ナベシマ | B13 | ロンシール工業㈱ | C14 |
| ㈱グリーンフィールド | B31 | ㈱ニチノー緑化 | C29 | ワインハウスゲアハルト㈱ | A1 |
| クリオン㈱ | C31 | ニッケ商事㈱ | B1 | | |
| グローベン㈱ | C15 | 日本硝子工業㈱ | C26 | | |
| 建築緑化システム研究会 | D2 | 〇日本公園緑地協会 | D8 | | |

* Booth No. "B F" は環境・緑化ブックフェア
コーナーの略

5 併 催 企 画

(1) エコ・グリーンテック2004特別講演会

| 日 | 会 場 | 時 間 | 講 演 内 容 お よ び 講 師 |
|----------------|---|--|--|
| 5月26日(水) | 会議棟 101号室 | 10:30 ~ 12:00 | ① 子供の遊び場とパークマネジメント P S N (プレイグラウンド・セーフティ・ネットワーク) 会長 大坪 龍太 |
| | | 13:00 ~ 17:00 | ② 「特殊緑化技術の今後の展開」 財団法人都市緑化技術開発機構 主催 |
| | | 13:00 ~ 13:10 | 開 催 換 拶 財団法人都市緑化技術開発機構専務理事 五十嵐 誠 |
| | | 13:10 ~ 14:10 | 第1部(基調講演) 特殊緑化技術と造園業界の今後の展開について 東京農業大学教授 近藤 三雄 |
| | | 14:20 ~ 16:25 | 第2部(特殊緑化共同研究会の調査報告) 1. 特殊緑化共同研究会の研究活動について(総論) 特殊緑化共同研究会運営委員長・㈱ネオジャグラス代表取締役 堀口 剛 2. 事例にみる特殊緑化の現状と今後の方向性 特殊緑化共同研究会運営委員・清水建設㈱技術研究所インキュベーションセンター主任研究員 橋 大介 3. 特殊緑化空間における防水技術について 特殊緑化共同研究会運営委員データベース分科会長・田島ルーフィング㈱緑化プロジェクト課長 後藤 良昭 4. 特殊空間緑化における施工と歩掛りについて 特殊緑化共同研究会運営委員歩掛分科会長・㈱環境・グリーンエンジニア環境技術部長 狩谷 達之 |
| | 16:30 ~ 17:30 | 【特別報告】 屋上緑化史と植栽基盤造成技術 和歌山大学システム工学部助教授 山田 宏之 | |
| | セミナールームA | 10:30 ~ 12:00 | ③ 植栽メンテナンスの時間割 ㈱TALLO都市計画 須永 倭子 |
| | | 13:00 ~ 14:30 | ④ 土づくりと葉面散布剤のいろいろ 元東京都中央農業改良普及センター所長 小林 五郎 |
| | | 15:00 ~ 16:30 | ⑤ エコファーム「水耕栽培の実践」 ㈱ファーマーズデザイン 瀬古 智亮 |
| | セミナールームC | 10:30 ~ 12:00 | ⑥ 人はいかに環境を利用してきたか -考古学に学ぶ- 東京大学大学院領域創成科学研究科助教授・博士(文学) 佐藤 宏之 |
| | | 13:00 ~ 14:30 | ⑦ 地域のほたるを守り、育てるピオトープ型ほたるの里づくり手法について 八千代ほたるの里づくり実行委員会 代表 加藤 賢三 |
| | | 15:00 ~ 16:30 | ⑧ 保水型下水道と緑化 -小倉市の雨水保全から- みずとみどり研究会 倉 宗司 |
| 5月27日(木) | 会議棟 101号室 | 10:30 ~ 12:00 | ⑨ シンポジウム「デザインマーケットとしての中国戦略」 社団法人ランドスケープコンサルタンツ協会 共催 秋山 寛(㈱タム地域環境研究所 代表取締役社長) 小林 治人(㈱東京ランドスケープ研究所 代表取締役会長) 佐藤 憲瑋(㈱都市計画研究所 代表取締役社長) 星野 嘉郎(㈱日本総合計画研究所 代表取締役社長) 細谷 恒夫(㈱あい造園設計事務所 代表取締役社長) 司会進行:井上 元(環境緑化新聞主幹) |
| | | 13:00 ~ 14:30 | ⑩ 環境技術における二つの方向とは? 沖縄大学 名誉教授 宇井 純 |
| | | 15:00 ~ 16:00 | ⑪ 経済発展と環境の両立を目指す中国でのビジネス成功法 宝網国際(資源管理部)MBA 貴 翔 |
| | セミナールームA | 10:30 ~ 12:00 | ⑫ 造園家と建築家のコラボレーション -環境に配慮した建築の提案- 紳建築工房代表 境原 達也 |
| | | 13:00 ~ 14:30 | ⑬ 居住者ニーズに即した環境共生とまちづくりを目指して -都市公園の環境配慮型造園技術のポイント- 都市基盤整備公社 東京支社 技術監理部 専門員 小木曾 裕 |
| | | 15:00 ~ 16:30 | ⑭ 都市における樹木と人の共生 サンコーコンサルタント㈱地域都市計画部 部長・樹木医、環境再生医 有賀 一郎 |
| | セミナールームB | 10:30 ~ 12:00 | ⑮ パークマネジメントと造園ソフト ㈱グラクス専務取締役 北川 明介 |
| | | 13:00 ~ 14:30 | ⑯ 楽しいコンテナガーデンの技術講座 スタイリッシュグリーン&フラワー協会会長・グリーンアドバイザー 梁瀬 泰子 |
| | | 15:00 ~ 16:30 | ⑰ 初心者にもわかるハンギングバスケットの作り方 日本ハンギングバスケット協会 東日本協議会 佐々木 雅代 |
| | セミナールームC | 10:30 ~ 12:00 | ⑱ 水みちとみどり -都市のエコ再生のために- 水みち研究会 代表 神谷 博 |
| | | 13:00 ~ 16:30 | ⑲ あつらいいな、こんな授業! -お母さんたちが作った総合学習プログラム・環境編- コミュニティスクール・まちデザイン 副代表 松村 裕子 |
| | 5月28日(金) | セミナールームA | 10:30 ~ 12:00 |
| 13:00 ~ 14:30 | | | ㉑ 環境に配慮した事業の推進のための「エコアクション21(ISO14001に関連して)」 NPO法人武蔵野・多摩環境カウンセラー協議会 藤井 健史 |
| 15:00 ~ 16:30 | | | ㉒ 緑化事業と法律についての動きを追って 弁護士・キーストーン法律事務所 日置 雅晴 |
| セミナールームB | | 10:30 ~ 12:00 | ㉓ 建築と発想 前島建設㈱ 建築設計部長 上法 武文 |
| | | 13:00 ~ 15:30 | ㉔ 「クライメートゾーンを知って楽しむベストガーデニング」 財団法人都市緑化技術開発機構 主催 |
| | | 13:30 ~ 13:50 | ベストガーデニングとガーデニング共同研究会 ガーデニング共同研究会運営委員長・㈱風土デザイン 代表取締役 上野 博昭 |
| | 13:50 ~ 15:10 | クライメートゾーンによるガーデニングの考え方 元兵庫県立淡路景観園芸学校 景観園芸専門員 石田 均 | |
| 15:10 ~ 15:30 | ガーデニングによる都市の緑化 財団法人都市緑化技術開発機構 都市緑化技術研究所 所長 半田 真理子 | | |
| セミナールームC | 10:30 ~ 12:00 | ㉕ 鳥害対策(バードストッパー)の実績と新情報 ㈱バードストッパー代表取締役社長 杉本 博明/伊藤忠林業㈱ 専務取締役 中村 作二郎 | |
| | 13:00 ~ 14:30 | ㉖ 企画書の説得術 -キャドとデジタルカメラの上手な使い方- @ノームプランニング社長 高村 哲 | |
| | 15:00 ~ 16:30 | ㉗ 【特別無料講座】緑の風景の中にある故郷 -旅の中に見る風景- 緑の風景を愛でる会 代表 豊留 章 | |
| 西4ホール内 特設会場 | 10:00 ~ 15:30 | ㉘ 第8回 屋上緑化普及協議会 主催 | |
| | 10:00 ~ 11:00 | 都市景観を破壊したのは誰だ! -緑化都市・木造都市へ- 地球環境問題評論家 船瀬 俊介 | |
| | 11:00 ~ 12:00 | 建物緑化は雨水利用から -21世紀は水資源- 雨水利用と緑化を進める会 会長 白井 章二 | |
| | 12:30 ~ 13:30 | (基調講演) 我が環境党宣言 -自然との共生- 衆議院議員 鳩山 邦夫 | |
| | 13:30 ~ 14:30 | 木造革命を実現したKES工法 -阪神大震災で無傷の耐震建築- シェルター㈱代表取締役 木村 一義 | |
| | 14:30 ~ 15:30 | 美しい日本の景観の復活 -景観法の制定の経緯とその狙い- 国土交通省都市・地域整備局 審議官 松田 一郎 | |

広報宣伝活動・来場者動員活動

(1) 広報宣伝活動・来場者動員活動

2003年11月、環境緑化新聞発行の「LANDSCAPE & GREENRERY 2004」(発行部数30,000部)を中央官庁、全国の地方公共団体、コンサルタント、施工業者等へ配布する時、エコ・グリーンテック2004の案内状を同封した。

同じく2003年11月、国土交通省はじめ中央官庁や都市基盤整備公団、日本道路公団等の公社・公団や協賛団体にその組織員を動員するため、各事務局にエコ・グリーンテックのポスターと開催日を入れたカレンダーを送付または持参し掲示をお願いした。

2004年3月、出展社名や併載イベントの内容を掲載した招待券を30万枚作成し、官公庁および民間の設計・施工会社などをはじめとする、環境緑化業界関係者に事務局より送付した。なお、国土交通省はじめ後援、協賛団体では事務所受付に招待券を置いていただき来訪者へのPRに協力していただいた。特に、東京都をはじめ関東近県の地方公共団体には、事務局より直接連絡し、担当者の来場を促すとともに窓口での配布やフラワーフェスティバル等催物での配布を依頼した。

各団体の発行する機関誌紙の発送に際し、エコ・グリーンテックの招待券を同封し、協会の来場招致に協力いただいた。機関誌に招待券を同封していただいた団体は以下のとおり。

「都市緑化技術」；7 都市緑化技術開発機構、「月刊日造協」；6 日本造園建設業協会、「民家」；日本民家再生リサイクル協会、「一造会会報」；一造会、他

2004年5月第3週、エコ・グリーンテックの詳細を掲載した公式ガイドブック「ECO-GREEN TECH 2004」(発行部数35,000部)の発行にともない、中央官庁ほか全国の地方公共団体・設計施工会社に再度招待券を添付・配布し、エコ・グリーンテックへの来場を呼び掛けた。

2004年5月第3週、過去7回のエコ・グリーンテック来場者(学生・一般除く)と造園や環境意識の高い“花と緑を考える会”(約1,800名)の会員に招待券を発送した。

期間中、東京ビッグサイトに全国一級造園施工管理技士の会「一造会」の総会・理事会や 6 ランドスケープコンサルタンツ協会の講演会等を誘致するなど、より多くの関係者の来場を促した。

(2) 広報PR活動

協会報、出版業界誌を中心に開催告知のニュースリリースを送付。また、協賛団体が発行する新聞、雑誌、PR紙誌等の刊行物にエコ・グリーンテック開催記事の掲載をお願いし、PRを図った。

(掲載いただいた一部を後に掲載)

「環境緑化新聞」紙上にて本年新年号より継続的にエコ・グリーンテックの企画や出展者の紹介を行い、周知徹底につとめた。

(3) マスコミによる取材

会場内にプレスバッジを用意。その他報道関係者のための便宜を図った。事前取材、事務局からのリリースによりエコ・グリーンテック開催記事を掲載いただいた新聞、雑誌等は70媒体以上に上った。また、会期中も多くのマスコミが取材に訪れた。

(4) 取材報道機関(事務局確認済みのもの)

新聞・通信社など

| 会社名 | 媒体名 |
|-----------|------------------|
| 朝日新聞社 | 朝日新聞 |
| 環境新聞社 | 環境新聞 |
| 日刊工業新聞社 | 日刊工業新聞 |
| 日刊建設工業新聞社 | 日刊建設工業新聞 |
| 日報 | 循環経済新聞 |
| 日本経済新聞社 | 日本経済新聞 |
| 農経新報社 | 農経しんぼう/クリーン&マシーン |
| 読売新聞社 | 読売新聞 |
| 日本食糧新聞社 | ファベックス |
| 北海道新聞 | |
| 世界日報 | |
| 日本屋根経済新聞社 | 日本屋根経済新聞 |
| 日本刃物工具新聞社 | 日本刃物工具新聞 |
| 工業技術新聞社 | |
| 日本種苗新聞社 | |
| 日本教育新聞社 | 日本教育新聞 |

テレビ・放送など

| 会社名 | 媒体名 |
|--------------|-----------|
| 日本放送協会 | 福島放送局 |
| 日本放送協会 | 報道局おはよう日本 |
| 日本テレビ放送網株式会社 | 報道局 |
| 日本テレビ放送網株式会社 | ザ! 情報ソウ |
| フジテレビジョン | |
| テレビ朝日映像株式会社 | |

広告など

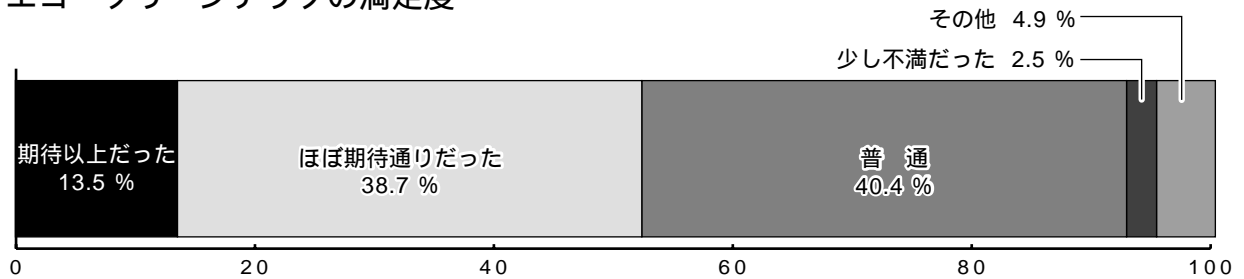
| 会社名 |
|----------------------|
| 株式会社中外 |
| 新和広告社 |
| 有限会社本田企画 |
| NONO DESIGN |
| エム・アンド・エス コミュニケーションズ |
| 大日広告社 |
| BIO ECO MEDIA |
| 木村アド企画 |
| 同盟広告社 |
| 株式会社パデコ |
| 有限会社アドパンス エージェンシー |
| コンテンツセンター ひろせ事務所 |
| シンタックス エージェンシー |
| トヨタエンタプライズ |
| 電通 |
| トモコーポレーション |
| 日本廣業社 |
| 株式会社ガット |
| 大広 |
| 三田企画株式会社 |

出版など

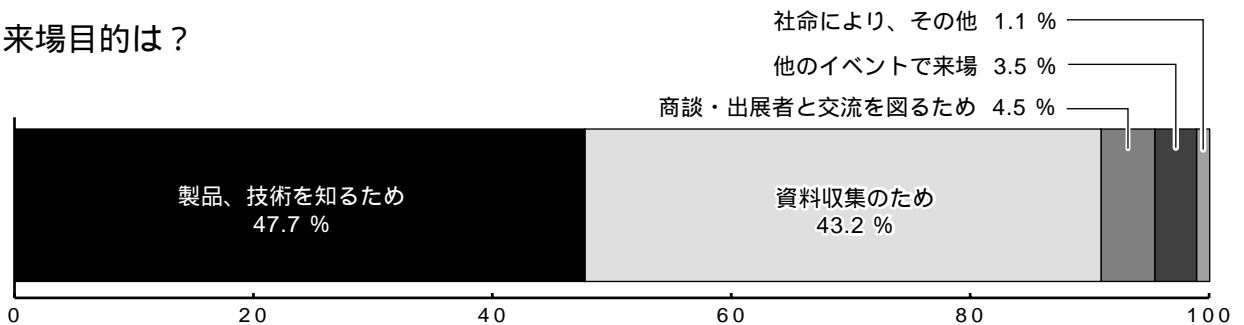
| 会社名 | 媒体名 |
|---------------|---------------------|
| 一季出版 | 月刊ゴルフマネジメント |
| エクснаレッジ | CAD & CGマガジン / 建築知識 |
| エヌ・ティー・エス | |
| グリーン情報 | グリーン情報 |
| 建設工業調査会 | ベース設計資料 |
| 工作社 | 月刊室内 |
| 工文社 | 月刊PROOOF |
| ゴルフダイジェスト社 | ゴルフダイジェスト |
| 産業とエネルギー社 | |
| 住宅環境社 | 月刊エクステリアワーク |
| 宣伝会議 | 月刊環境 & ビジネス |
| 創樹社 | グリーンアーキテクチュアトリビュン |
| 日経BP社 | 日経アーキテクチュア |
| 山と渓谷社 | 山と渓谷 |
| リクルート | アントレ |
| 日経BPアド・パートナーズ | |
| 日本経済社 | |
| 建報社 | |
| 紙の昔 | |
| 周明社 | |
| きかんし | |
| 酪農文庫社 | |
| 体育施設出版 | 月刊体育施設 |
| 建築ジャーナル | |
| ニューハウス出版株式会社 | 月刊ニューハウス |
| 商店建築社 | |
| カミ通信社 | |
| リフォーム産業新聞社 | 週刊ザ・リフォーム |
| 誠文堂新光社 | 子供の科学 / 農耕と園芸 |
| 東京書籍株式会社 | |
| 株式会社工業調査会 | 化学装置 |
| コスモジャーナル社 | 隔週刊リフォーム&インテリア |
| 近代建築社 | 月刊近代建築 |
| 週刊住宅新聞社 | 週刊住宅 |
| 黒潮社 | 月刊タイトル |
| 株式会社典沃 | 月刊環境Di |
| 食品研究社 | 月刊フードリサーチ |
| 建設物価メディア株式会社 | |
| 経宣 | 月刊積算資料SUPORRT |
| 電力時事通信社 | |
| 学習研究社 | |

7 来場者アンケート

エコ・グリーンテックの満足度

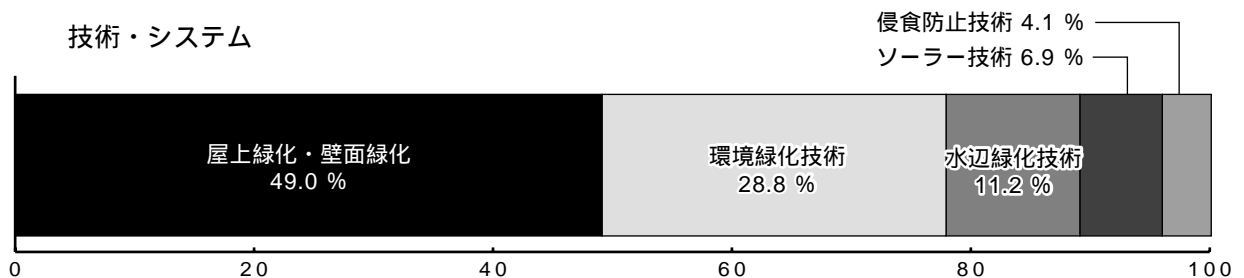


来場目的は？

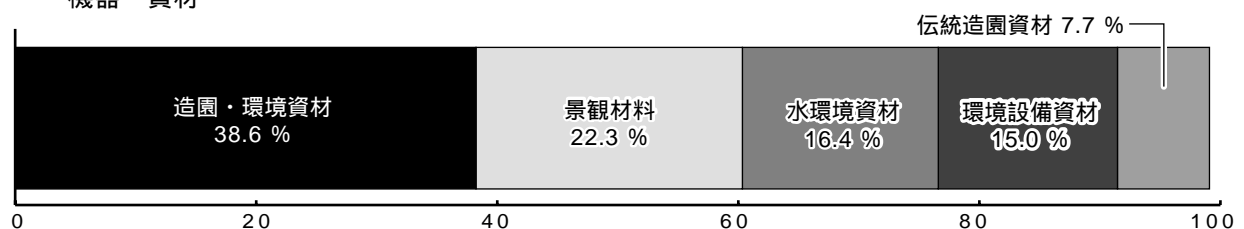


今回の展示の中で特に興味、関心のあった分野（複数回答）

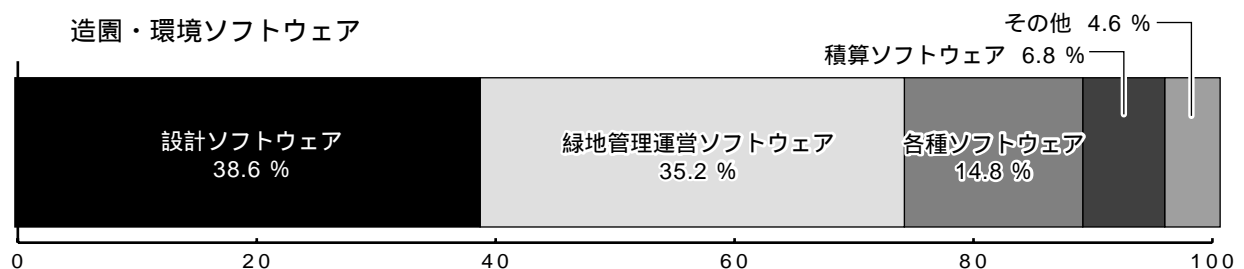
技術・システム



機器・資材



造園・環境ソフトウェア

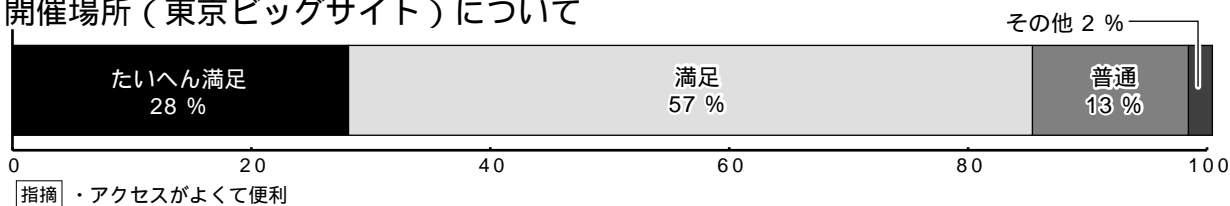


興味・関心があった会社・製品名 BEST25

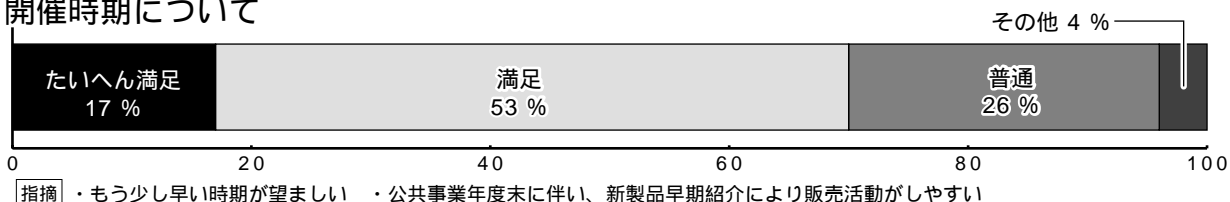
- ① 東邦レオ(株)
土壌改良の新工法提案、樹木の健康診断技術、屋上緑化・壁面緑化技術
- ② セキスイグループ
エコテリア 保水ペーパー、リサイクル木材「リファレREW」、防水一体型緑化工法「ソレイノーフ工法」、地下貯水槽用部材「クロスウェーブ」ほか
- ③ 田島ルーフィング(株)
Gウェイブ・エコム、Gウェイブ
- ④ ウッドチップ工法研究会
コンクリート壁面緑化保護工：ウッドアース工法、複合木質パネル：ウッドアースクエア（舗装用・壁面用）、現場打設木質舗装：ウッドアースウォーク舗装、粉碎木質舗装：木持eロード
- ⑤ 建築緑化システム研究会
壁面緑化システム
- ⑥ 川田建設(株)
緑化システム「みどりちゃん」、法面の防災緑化工法「ジオステップ」、多目的地下水貯水槽「エコマモール」
- ⑦ 共同カイツック(株)
屋上緑化システム「底水型スクエアターフ」「雨水型スクエアターフ」、常緑性コウライ芝「コプロス」、センサ式自動かん水コントロール
- ⑧ 三井物産林業(株)
R E O (Recycled Eco Oil) 処理木材、漢方土壌改良材「ニュー松イキイキ」、雨水貯蓄浸透システム「U S Tシステム」、二重床システム「プロズーム」
- ⑨ ロンシール工業(株)
管理型緑化システム「ロンググリーン仕様」、省管理型トレイ緑化システム「箱庭名人」、保水性保護板「ロンセラマット」
- ⑩ コアサ商事(株) / グローベン(株)
ウッドコンテナ、ベンチ付パーゴラ、ウッドブロック、ウッドデッキスロープ付、立柱モニュメント、フェンス（コアサ商事）
人工造園・庭園資材、自動散水システム、屋上水景関連部材（グローベン）
- ⑪ 浅間軽石(株)
環境緑化基盤「ココターフ」、環境にやさしい果実の炭「ココ炭」、純粋ヤシガラ木酢液「ココビネガー」
- ⑫ 上屋敷工業(株)
遊びながらにして健康づくりができる健康器具「KEN人」20種類
- ⑬ (株)コトブキ
リサイクル・エコ・ユニバーサルデザインをコンセプトに、エクステリアデザイン新製品を多数リリース
- ⑭ (株)興人
グラウンドバンクシステム（薄層型・現場養成芝システム）、ドムターフシステム（薄層型・ユニット芝システム）、サーモグリーンシステム（薄層型・放任緑化セダムシステム）、ウォーターバンクシステム（軽量無灌水システム）
- ⑮ モスブロー緑化工法研究会
乾燥と日照に強い在来種のコケで軽量化と同時に省管理を実現、特殊なロックウールを使い保水性のある緑化マット（特許申請中）、ステンレス屋根、折板屋根、スレート屋根、コロナル屋根にも緑化パネルで対応
- ⑯ 日本硝子工業(株)
透塊グリーンシステム（芝ブロック）、透塊ソイル（環境改善舗装）、透塊ブロック（土ブロック）、透塊埋設固化層緑化工法、チップインソイル、ブロック等
- ⑰ (株)ナベシマ
PCガードウェアシリーズ、アーバンデコ・フェンス、アーバンデコ・ベンチ
- ⑱ タキロン(株)
雨水貯留タンク「雨音くん」、雨水貯留・浸透槽用貯留材「アクアブリック」を使用した雨水利用システム、宅地用雨水浸透ます
- ⑲ (株)林物産
雨水貯留浸透槽 シンシンプロック、雨水流出抑制浸透管 シンシントレンチ、軽量盛土工法 カンカンブロック、舗装材 コンタイブロック、ゴムレンブロック、芝生保護材 グリーンテクター、グリーンブロック、ブロックテスター、屋上緑化材 コアブロック、壁面緑化材 カナポット
- ⑳ イビデングリーンテック(株)
屋上緑化工法、壁面緑化工法「いこいの壁」
- ㉑ (株)上田敷物工場
土を使わない屋上緑化 コイヤーマンタイル、壁面緑化用コイヤーマンタイル、有害汚染土壌浄化剤 活性炭クリアップ
- ㉒ (株)マサキ・エンヴェック
屋上緑化用軽量土壌「ルーフソイル」、ルーフソイル折板屋根緑化工法、卓上緑化「FEEL GREEN」、リサイクルゴムレンガ
- ㉓ 北陸粗朶業振興組合
「粗朶沈床」
- ㉔ マックストン(株)
T & Tルーフマット、GR - BOX
- ㉕ (株)カクダイ
自動灌水システム、水力発電自動弁ユニット、庭園・緑化帯用灌水 / 散水ホース、庭園・緑化帯装飾水まわり用品

8 出展者アンケート

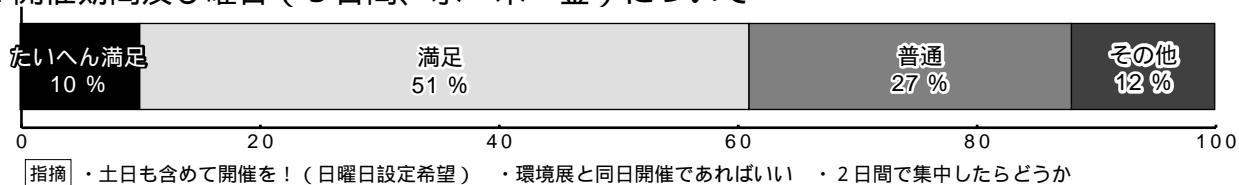
1. 開催場所（東京ビッグサイト）について



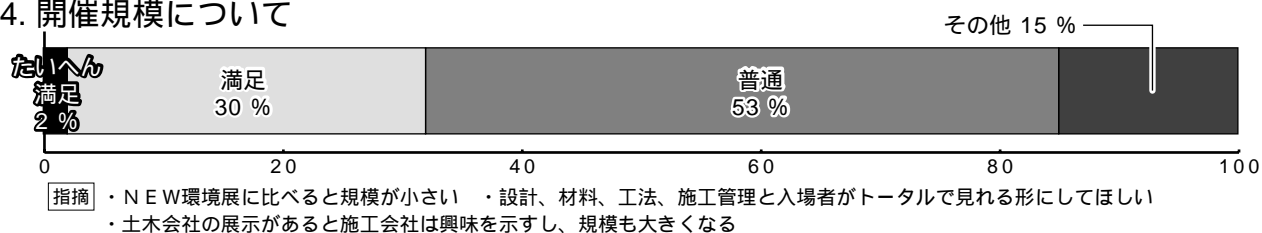
2. 開催時期について



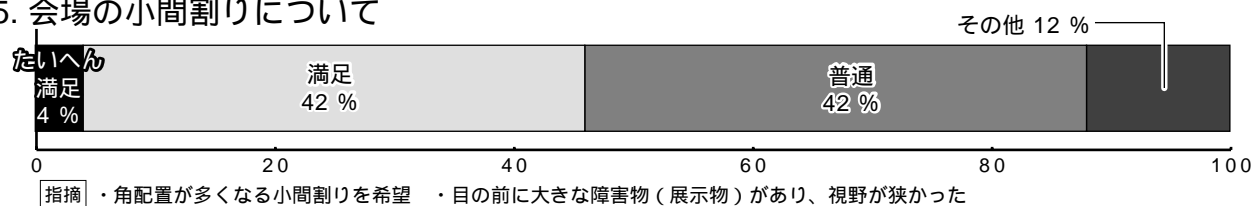
3. 開催期間及び曜日（3日間、水・木・金）について



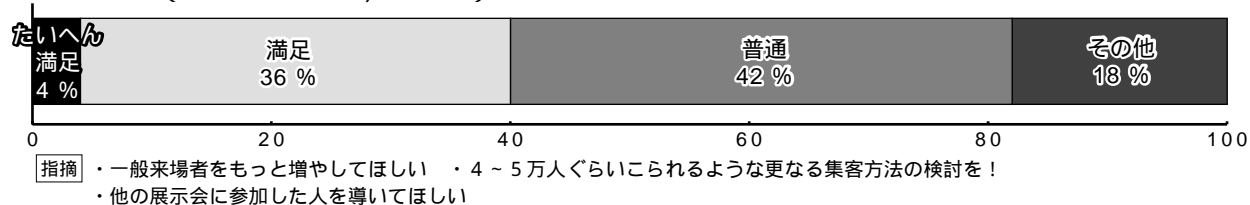
4. 開催規模について



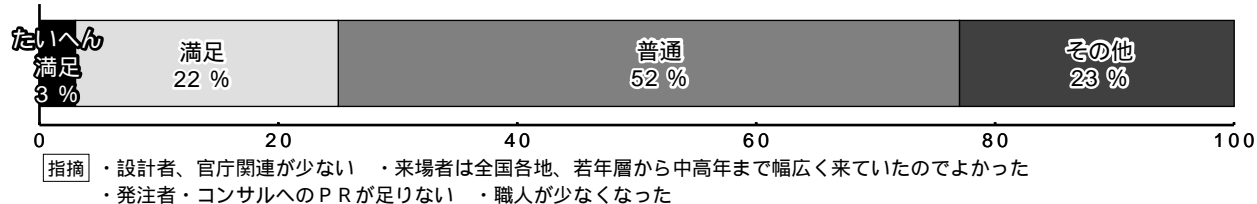
5. 会場の小間割りにについて



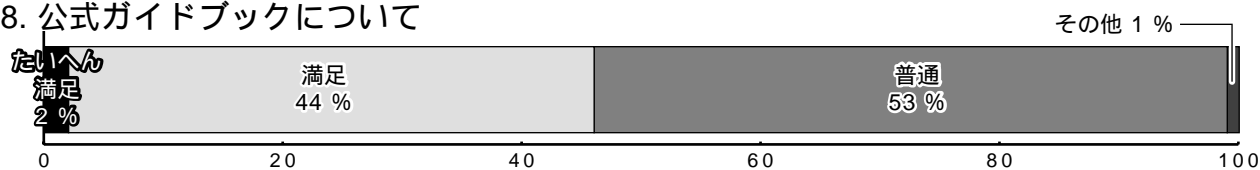
6. 来場者数（3日間で30,561人）について



7. 来場者の内訳について

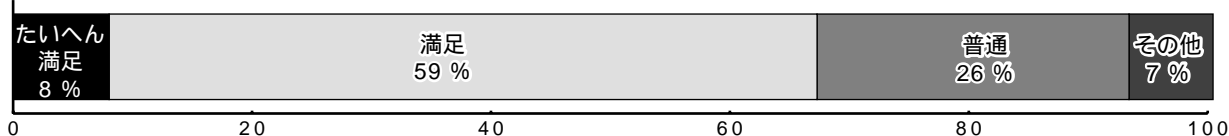


8. 公式ガイドブックについて



指摘 ・記事をもっと多く掲載してほしい ・もう少し簡素化したほうがいい

9. 事務局の会場運営について



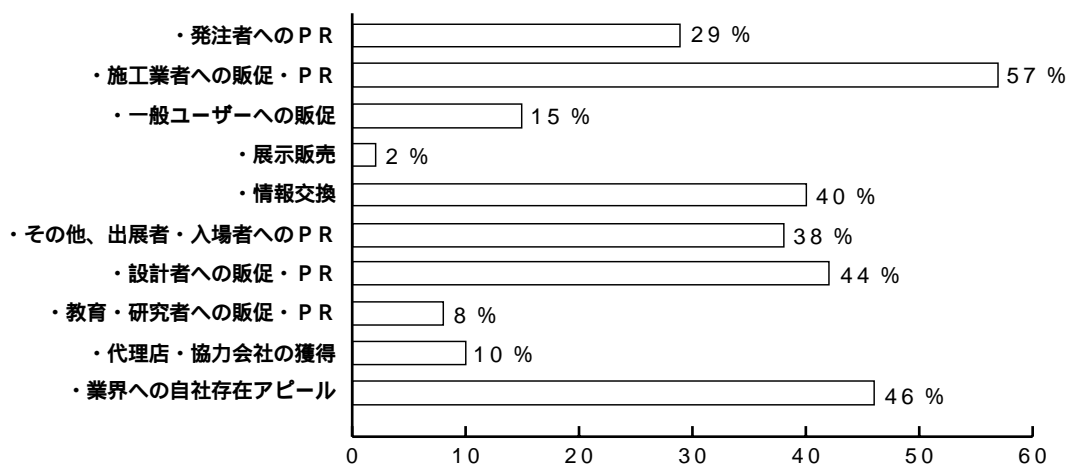
指摘 ・搬入期日が短い(2日間にして欲しい) ・TVが最終日に入っていたが初日に放映できればもっと効果的

10. 出展効果について



指摘 ・今後の解析次第 ・全国から来場者がいた ・商談への発展がなく不満

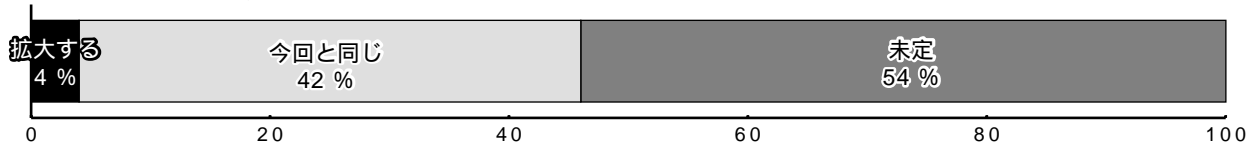
11. エコ・グリーンテック2004 で達成されたことは？ (複数回答可)



12. エコ・グリーンテック2005 (2005年5月25(水)～27日(金) 於:東京ビッグサイト)への出展について



13. 次回ご出展の場合の出展規模は？



協賛団体一覧

- 21世紀校庭緑化研究会
C A 緑化工協会
特定非営利活動法人 I C A 文化事業協会
P S N (プレイグラウンド・セーフティ・ネットワーク)
R . S . G . 協会
(社)愛知県造園建設業協会
(社)青森県造園建設業協会
(社)秋田県造園協会
一造会「全国一級造園施工管理技士の会」
(社)茨城県造園建設業協会
園芸学会
(社)園芸文化協会
(社)大分県造園建設業協会
(社)大阪市造園業協会
岡山県造園建設業協会
(社)沖縄県造園建設業協会
特定非営利活動法人 屋上開発研究会
屋上緑化普及協議会
(財)海洋博覧会記念公園管理財団
(社)鹿児島県造園建設業協会
家庭園芸肥料・用土 協議会
(財)神奈川公園協会
硝子繊維協会
(財)川崎市公園緑地協会
(社)環境情報科学センター
(社)環境生活文化機構
(財)休暇村協会
(社)京都府造園建設業協会
(財)クリーン・ジャパン・センター
グリーンアドバイザー東京
(社)熊本県造園建設業協会
(社)群馬県造園建設業協会
景観材料推進協議会
下水汚泥資源利用協議会
健康運動施設開発機構
(財)建材試験センター
(財)建築環境・省エネルギー機構
(社)ゴルファーの緑化促進協力会
(財)公園緑地管理財団
(社)国際観光施設協会
(財)国際花と緑の博覧会記念協会
(財)国立公園協会
N P O 法人 サヘルの森
最終処分場技術システム研究会
(財)埼玉県公園緑地協会
(社)埼玉県造園業協会
(社)佐賀県造園建設業協会
(社)産業環境管理協会
(財)産業廃棄物処理事業振興財団
シェアリングアース協会
(社)静岡県造園緑化協会
N P O 法人 自然環境復元協会
(財)自然公園財団
(社)地盤工学会
斜面安定協会
斜面受圧板協会
(財)住宅生産振興財団
(社)住宅生産団体連合会
特定非営利活動法人 樹木・環境ネットワーク協会
特定非営利活動法人 循環型地球環境保全機構
(財)省エネルギーセンター
(社)照明学会
スタイリッシュグリーン&フラワー協会
水質浄化システム工業会
(社)セメント協会
生分解性プラスチック研究会
全国赤煉瓦協会
全国エクステリアコンクリート協会
(協)全国花材流通協会
(社)全国環境保全推進連合会
全国環境緑化樹木事業協同組合
(社)全国建築コンクリートブロック工業会
全国芝生協会
(社)全国住宅建設産業協会連合会
全国女性造園技術者の会
(社)全国森林レクリエーション協会
全国タイル工業組合
(社)全国都市清掃会議
全国パーク堆肥工業会
全国木質セメント板工業組合
(社)全日本菊花連盟
(社)全日本ネオン協会
造園・環境緑化産業振興会
総合環境設景協同組合
太陽光発電協会
竹文化振興協会
(社)地下水技術協会
(財)地球環境財団
(財)地球・人間環境フォーラム
(社)千葉県造園緑化工事業協会
(財)とうきゅう環境浄化財団
(財)東京都公園協会
東京都造園建設業協同組合
(社)東京都造園緑化業協会
(社)道路緑化保全協会
都市環境デザイン会議
(財)都市計画協会
(社)土壌環境センター
(財)都市緑化基金
(社)栃木県造園建設業協会
(社)富山県緑化造園土木協会
(社)長崎県造園建設業協会
(社)長野県造園建設業協会
(社)奈良県造園建設業協会
(財)ニッセイ緑の財団
日本 S ・ C ・ L 協会
日本ウォーターズライド工業会
(社)日本植木協会
日本運動施設建設業協会
日本園芸商協会
(社)日本オート・キャンプ協会
日本オーニング協会
(社)日本花き卸売市場協会
(社)日本家庭園芸普及協会
(社)日本環境アセスメント協会
日本環境教育学会
(社)日本環境教育フォーラム
(財)日本環境協会
(社)日本観光協会
(社)日本キャンプ協会
(財)日本グラウンドワーク協会
(社)日本建材産業協会
(社)日本建設機械工業会
(社)日本建設業団体連合会
(社)日本建築学会
(社)日本建築ブロック・エクステリア工事業協会
(社)日本公園施設業協会
(財)日本サイクリング協会
(社)日本サインデザイン協会
(財)日本産業廃棄物処理振興センター
日本芝草研究開発機構
(社)日本住宅建設産業協会
日本樹木医会
日本植物工場学会
日本水景協会
(財)日本生態系協会
日本ゾーンセラピー協会
(社)日本造園学会
(社)日本造園組合連合会
(社)日本造園建設業協会
(社)日本造園建設業協会 岩手県支部
(社)日本造園建設業協会 宮城県支部
日本造園建設業厚生年金基金
(財)日本造園修景協会
(財)日本体育施設協会
(財)日本鳥類保護連盟
(社)日本ツーパフォー建築協会
(社)日本庭園協会
日本トイレ協会
(社)日本土壌協会
(社)日本土壌肥料学会
(社)日本ナショナル・トラスト協会
(社)日本の水をきれいにする会
日本パーク堆肥協会
(財)日本花の会
(財)日本花普及センター
日本ハンギングバスケット協会
特定非営利活動法人 日本ビオトープ協会
(社)日本ビルディング協会連合会
(社)日本フラワーデザイナー協会
日本不織布協会
(社)日本防錆技術協会
日本みどり環境リサイクル協会
(社)日本水環境学会
日本民家再生リサイクル協会 (JMRA)
日本木材防腐工業組合
(社)日本木造住宅産業協会
(社)日本有機資源協会
日本ランドスケープフォーラム
(財)日本緑化センター
(社)日本林業土木連合協会
日本路地横丁学会
(財)農業技術協会
(社)農林水産技術情報協会
廃棄物学会
(財)廃棄物研究財団
発泡スチロール再資源化協会
花と緑を考える会
阪神造園建設業協同組合
光触媒コンクリート工業会
(財)日立環境財団
(社)兵庫県造園建設業協会
(社)広島県造園建設業協会
(社)福岡県造園業協会
(社)福島県造園建設業協会
(社)不動産協会
(社)プレハブ建築協会
ヘンプ製品普及協会
(社)北海道造園建設業協会
マングローブ植林行動計画
みどり再生協会
(社)三重県造園建設業協会
水処理技術研究会
緑と生態研究会
(社)緑の安全推進協会
N P O 法人 緑の地球ネットワーク
(社)宮城県造園建設業協会
藪会
(社)ランドスケープコンサルタンツ協会
(財)リバーフロント整備センター